

山の子ども園

うしのしっぽ



．．．．ほんものの自然の中で．．．
．．．．ほんものの命との出会い．．．
ほんとうの生きる力を引き出す．．．

園長 京村まゆみ

- 「NPO法人さぶみの」 事務局
 - 津和野町議会議員 2 期目
 - 標高 4 5 0 m京村牧場 牛飼い
 - 息子 4 人の母
-
- 2 0 1 3 年
 - 「山のこども園うしのしっぽ」
認可外で立ち上げ



津和野町の保育事情

 250人 /  7600人

 7つ 全て保育園

「幼児教育」への意識

町全体として低い

左鐙地区

120世帯 **300**人

日本一の清流
高津川

県内最高峰
安蔵寺山

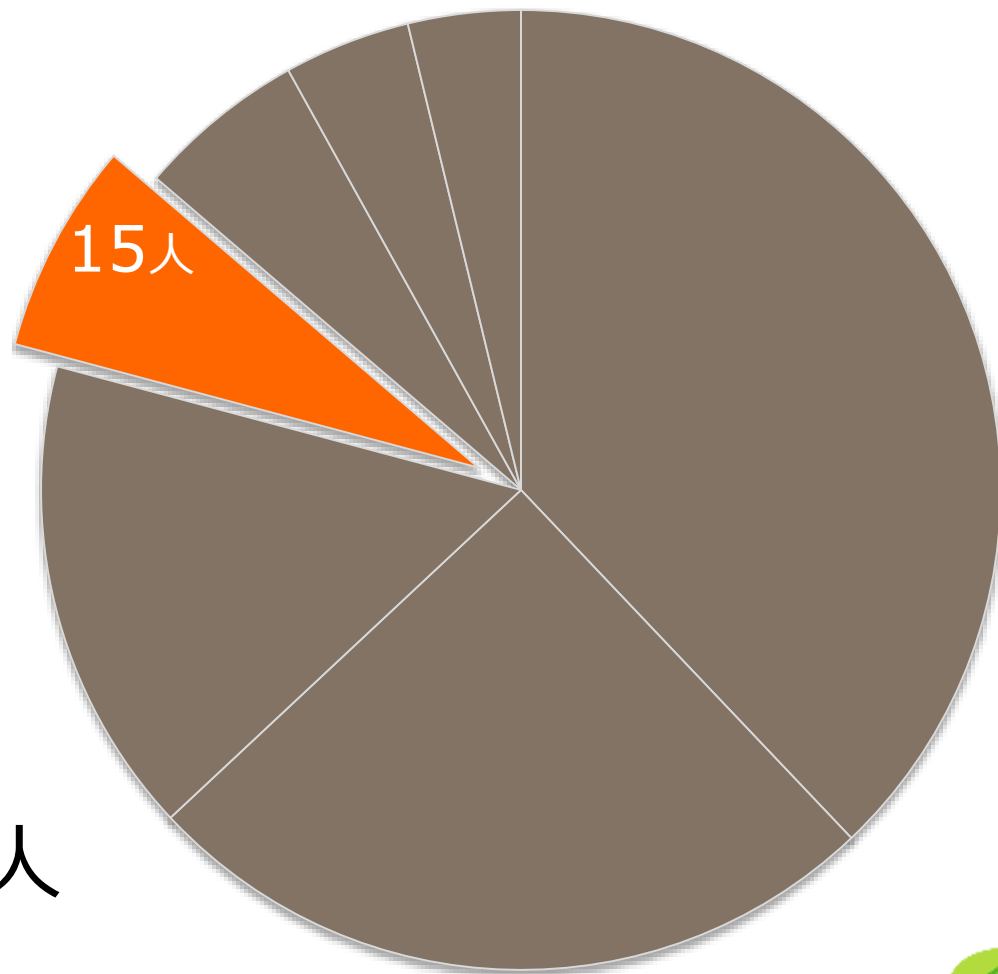
豊かな人々
と暮らし

2007 へき地保育所 休園
2013 うしのしっぽ 開園
2016 小学校廃校

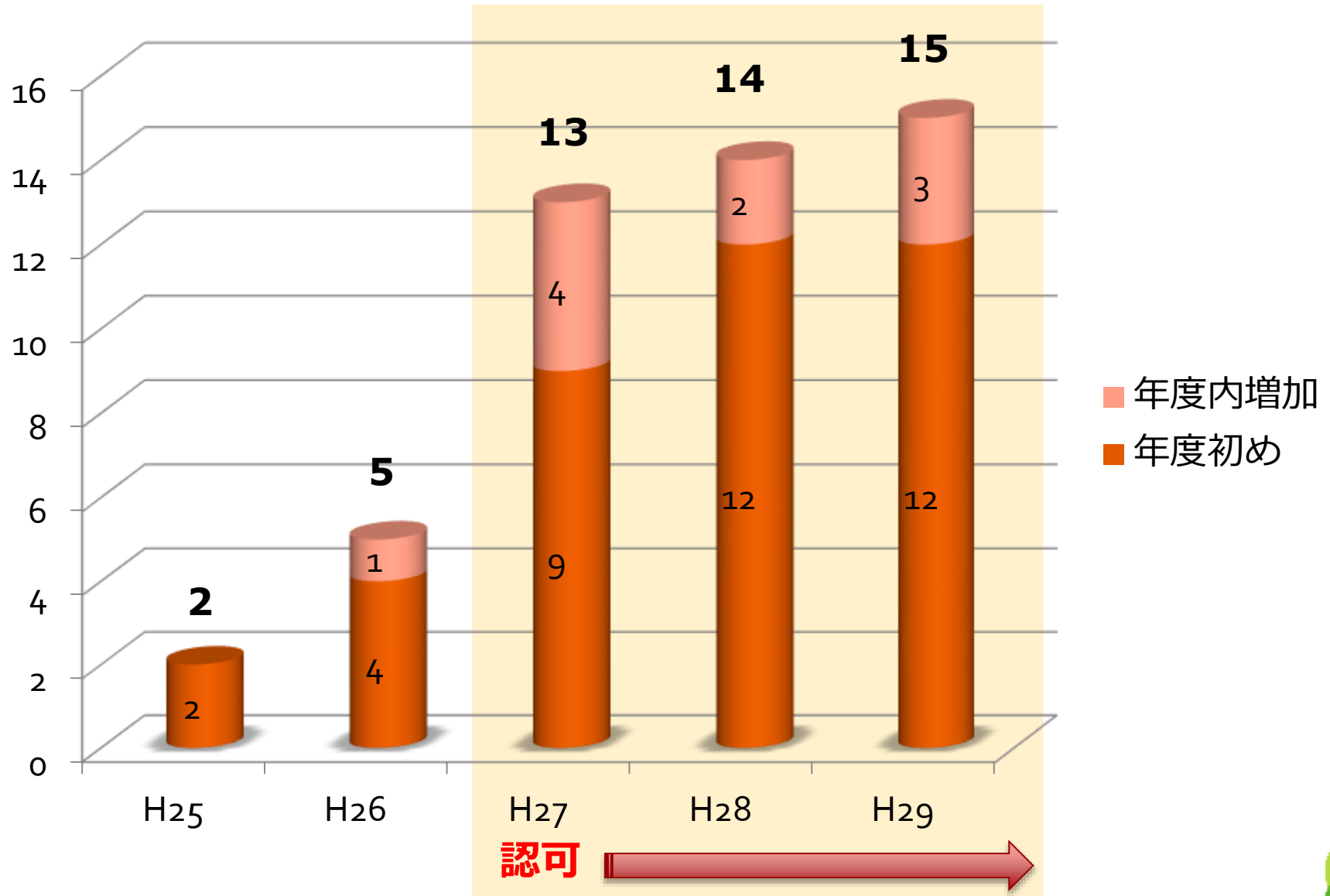
津和野町内の園児のうち うしのしっぽに通う子どもの割合

うしのしっぽ
7%

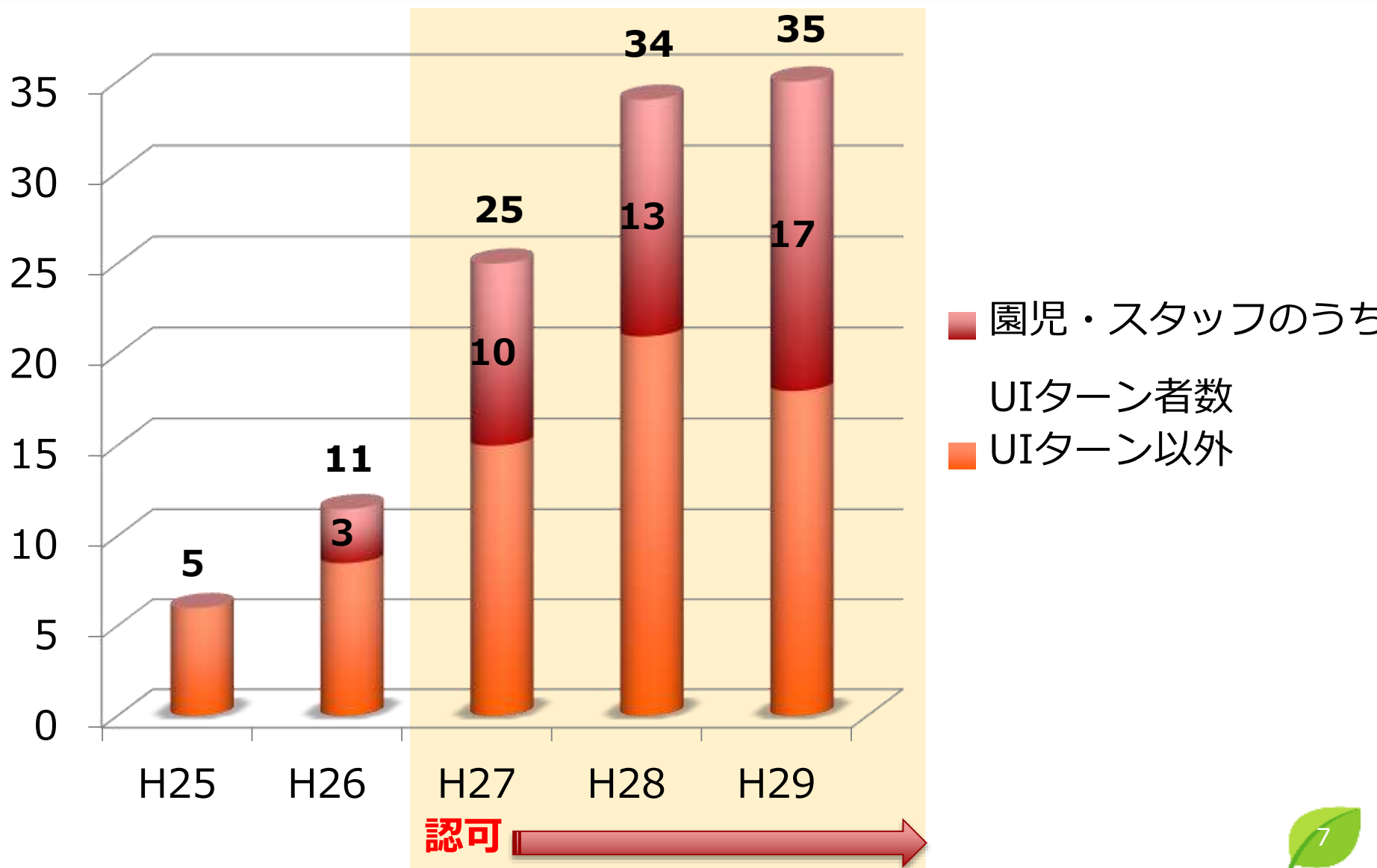
町内全園児数 211人



うしのしっぽ園児数の変遷



移住者（園児・職員）の増減



関係者増減一覧表

	認可外保育園		津和野町認可保育園		
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
年度当初／ 年度末園児数	2人	4人／5人	9人／13人	12人／14人	12人／15人
年度末保育士資格者	1人	2人	5人 (うち正職員2名)	6人 (うち正職員2名)	8人 (うち正職員4名)
年度末看護師				1人 (産休代替)	1人 (育休代替)
年度末保育補助者	1人	2人	4人	4人 (うち1人子育て支援員)	2人 (子育て支援員)
調理士	0.5人	1人	1人 (非常勤)	2人 (非常勤)	2人 (非常勤)
事務員	0.5人	0.5人	1人 (非常勤兼務)	1人 (非常勤兼務)	2人 (非常勤兼務)
園バス運転手 (パート)				4人	4人
学童などアルバイト	1人	1人	1人	2人	1人
うち UIターン増加数	0人	3人 (うち1人保育士)	8人 (うち2人保育士)	5人 (うち4人保育士)	3人 (うち1人保育士)

子ども子育て支援新制度 「地域型小規模保育事業」

2015年 子ども・子育て支援新制度 開始

→「地域型小規模保育事業」が

市町村の認可事業として給付の対象になる。

●地域型小規模保育事業

事業主体	市町村、民間事業者等
保育実施場所	保育者の居宅、 その他の場所、施設
認可定員	6～19人

「地域型小規模保育事業」 認可基準

事業類型		職員数	職員資格	保育室等	給食
 小規模 保育事業	A型	保育所の配置基準+ 1名	保育士*1	0・1歳児： 1人当たり3.3㎡ 2歳児： 1人当たり1.98㎡	●自園調理 (連携施設等からの搬入可) ●調理設備 ●調理員*3
	B型	保育所の配置基準+ 1名	1/2以上が保育士*1 ※保育士以外には研修を実施します。		
	C型	0～2歳児 3:1 (補助者を置く場合、5:2)	家庭的保育者*2	0～2歳児： 1人当たり3.3㎡	

〈参考〉

保育所	0歳児 3:1 1・2歳児 6:1	保育士*1	0・1歳児 乳児室:1人当たり1.65㎡ ほふく室:1人当たり3.3㎡ 2歳児以上 保育室等:1人当たり1.98㎡	●自園調理 ※公立は外部搬入可(特区) ●調理室 ●調理員
-----	----------------------	-------	---	--

出典：
子ども・子育て支援新制度
ハンドブックより

- *1 保健師、看護師又は准看護師の特例を設けています(平成27年4月1日からは准看護師も対象)。
- *2 市町村長が行う研修を修了した保育士、保育士と同等以上の知識及び経験を有すると市町村長が認める者としします。
- *3 家庭的保育事業の調理員については、3名以下の場合、家庭的保育補助者を置き、調理を担当することも認めます。

認可に至るまでの流れ

- 2013年4月 2015年度の津和野町保育計画
に間にあわせるべく
ほぼ見切り発車で
認可外保育所として開園
- 2014年 15年度の保育計画に組み込み
- 2015年4月 認可保育園としてスタート

認可施設の関係で、分断される保育時間

当時、認可施設として登録した建物は
山から車で10分ほど離れた「旧左鐙へき地保育園園舎」

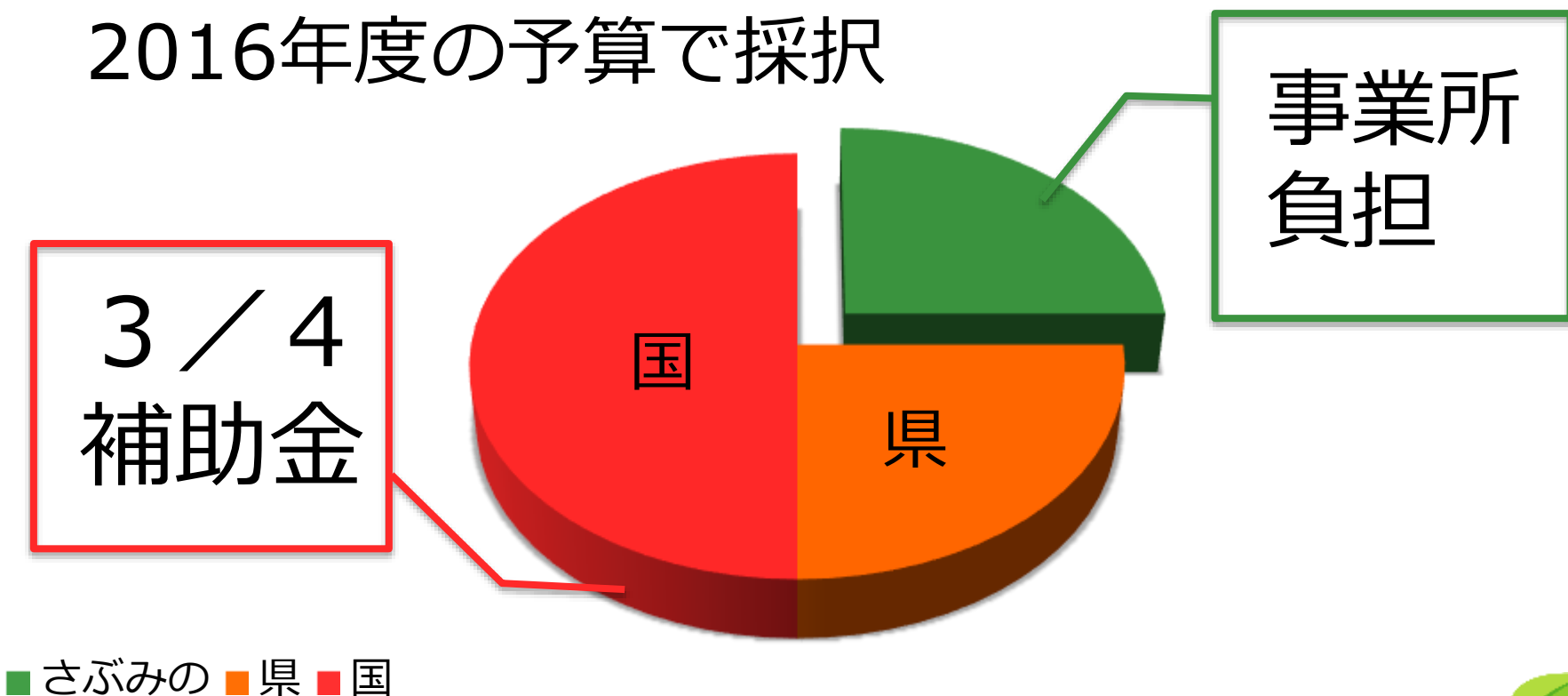


毎日給食前 山から降りてバス移動

- 時間が分断
- バスで寝てしまい、生活リズムが崩れる
- 0歳児はそもそも山へ行きづらい

新園舎建設への足がかり

- 5年の経過措置期間中に認可条件クリア
- 国の保育所整備事業の予算枠
2016年度の予算で採択





高津川流域の木を使った、木の香りのする園舎内



2017年8月27日 120人が集まった新園舎竣工式

特例による異年齢保育の実現

地域型小規模保育：本来 0 ～ 2 歳児保育事業

【僻地などの特例】

定員に満たない場合、 3 ～ 5 歳児も受入可能

地域型小規模保育事業のもとでも
幅広い年齢の交流のある保育が可能

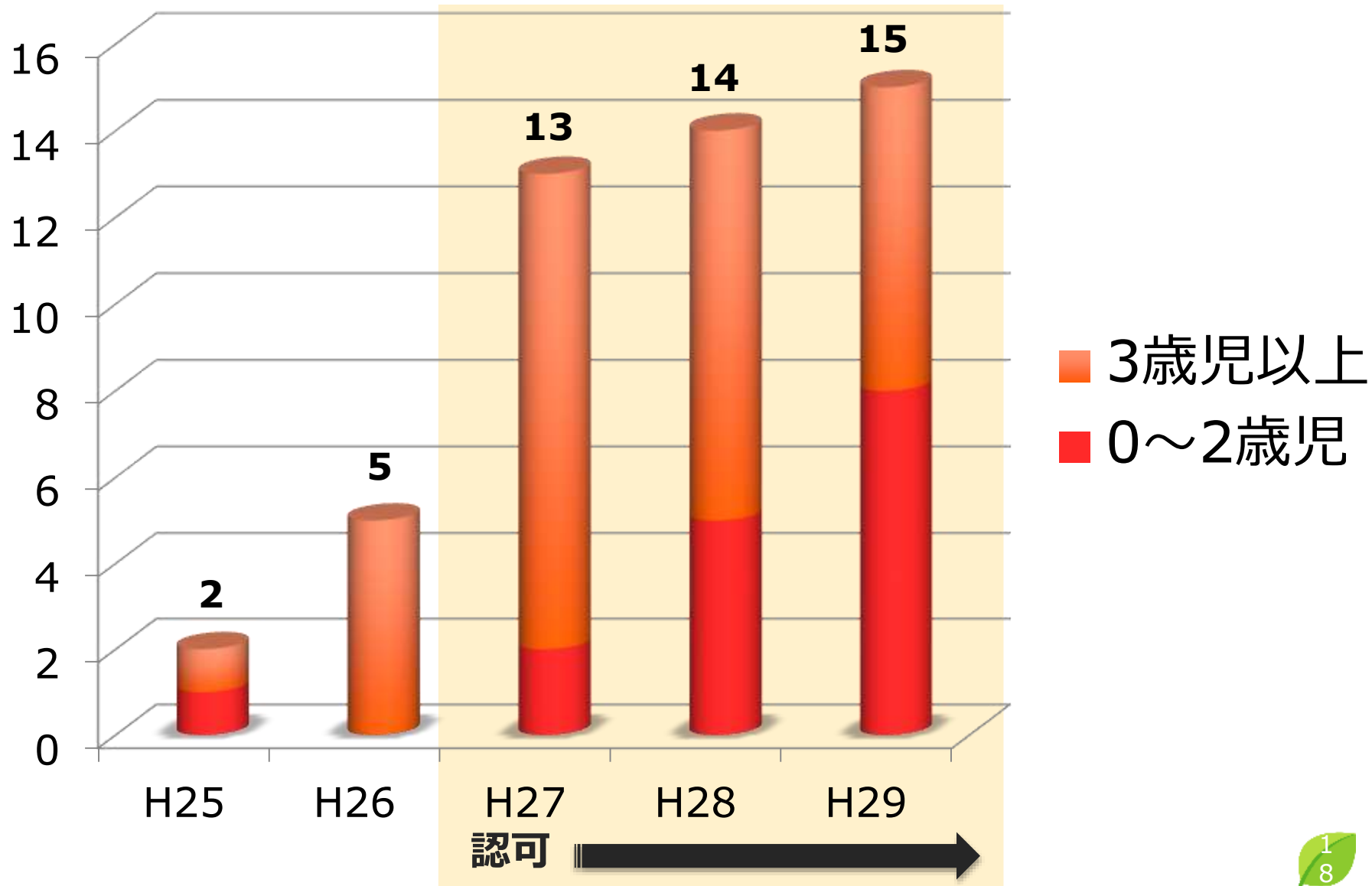
「特例地域型給付」の規定がある

満3歳以上で保育認定・教育標準時間認定を受けている子ども

→地域に幼稚園・保育園が他にないなど、市町村がやむを得ないと判断した場合、特定地域型保育事業所で受け入れることができる。

(特例地域型給付費が支給される)

うしのしっぽ園児の年齢分布



認可によって良くなったこと

- ・子どもたちの豊かな日常を
より安定して継続できる

補助金活用し
フィールド内に
念願の園舎

スタッフの
継続雇用

- ・一般的な選択肢として選んでもらえる

他の園と変わらない
保育料

特別な子が
通うイメージ
払拭

日々の様子をこちらからご覧頂けます

Facebook



インスタグラム



ブログ

